

## 今月のトピック

### 政治

- ◆国政選挙の実施(概要)
- ◆道上大使のコンドフ外務大臣との会談
- ◆道上大使のザプリャノフ国防大臣との会談

### 経済

- ◆JETROビジネス・ミッションのブルガリア訪問
- ◆明治とLBブルガリウム社の契約締結
- ◆鳴戸親方率いるビジネス代表団のブルガリア訪問

### その他

- ◆道上大使の松前重義・元東海大学総長胸像除幕式への出席

※月報は、ブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

※月報の個別メール配信を希望される方は、当館メールアドレス([emb-jp-bg@sf.mofa.go.jp](mailto:emb-jp-bg@sf.mofa.go.jp))まで御連絡下さい。

### 政治

#### ◆国政選挙の実施(概要)

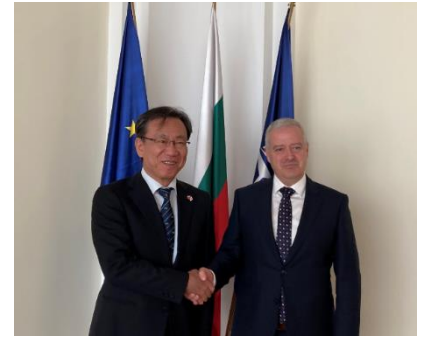
▶2024年(令和6年)10月27日に実施された国政選挙の結果は以下のとおり。2021年4月以降の約3年で7度目の国政選挙の投票率は依然低水準(38.94%)だが、前回(34.41%)より約4%上昇。  
▶10月31日までに中央選挙委員会から発表された各党・連合の最終得票率及び議席数は以下のとおり。

	得票率	議席数
GERB-UDF	26.38%(前回 24.70%)	69議席(前回 68議席)
CC-DB	14.20%(前回 14.33%)	37議席(前回 39議席)
再生党	13.35%(前回 13.78%)	35議席(前回 38議席)
MRF-New Beginning	13.35%(前回は下記注)	30議席(前回は下記注)
BSP	7.56%(前回 7.06%)	20議席(前回 19議席)
ARF	7.48%(前回は下記注)	19議席(前回は下記注)
TISP	6.77%(前回 5.96%)	18議席(前回 16議席)
MECh	4.59%(前回 2.98%)	12議席(前回議席なし)
Grandeur	3.99%(前回 4.65%)	議席なし(前回 13議席)

(注)MRFは、前回選挙得票率 17.07%・47議席だが、今回の選挙にはペエフスキ氏を中心とするMRF-New Beginningとドガン氏を中心とするARFに2分する形で選挙に出馬した。

### ◆道上大使のコンドフ外務大臣との会談

▶ 2024年(令和6年)10月10日、道上大使はコンドフ外務大臣を表敬した。道上大使は、厳しい国際情勢の中でも前向きな要素は多く、日本とブルガリアとが伝統的な友好関係を大切にしながら関係を再活性化したい旨述べた。また、近年日本ビジネス界がIT等で強みを見せるブルガリアに注目しつつあること、今月JETROをはじめ2件のビジネス・ミッションが当地を訪問していることを紹介し、来年ブルガリアが参加を予定する大阪・関西万博がビジビリティ向上の機会として有効に活用されることを希望する旨述べた。



▶ コンドフ外務大臣は、日本はブルガリアの優先的パートナーであり、民主主義をはじめとする基本的価値を共有する両国の関係が一層強化されることへの期待を表明した。

▶ 双方は、要人往来、経済・エネルギー、文化、国際情勢等について有意義な意見交換を行い、日・ブルガリア関係の一層の促進に向け、緊密に連携していくことで一致した。

### ◆道上大使のザプリヤノフ国防大臣との会談

▶ 2024年(令和6年)10月11日、道上大使はザプリヤノフ国防大臣を表敬し、道上大使は、厳しい国際情勢の中で、民主主義、法の支配をはじめとする基本的価値を共有する日本とブルガリアとの一層の関係強化に取り組む旨述べた。

▶ 双方は、ウクライナを含む国際情勢、日NATO協力等について話しあい、ウクライナへの継続的な力強い支援の必要性、同志国間の連携の強化、防災等危機管理対応分野での両国間協力の継続等について有益な意見交換をした。



## 経 済

### ◆JETROビジネス・ミッションのブルガリア訪問

▶ 2024年(令和6年)10月15~16日、日本企業74社・約100名から成るJETROビジネス・ミッションがブルガリアを訪問し、市内ホテルでビジネス・フォーラムを開催するとともに、大統領との会談等を行った。

#### (1) ビジネス・フォーラム

15日、ソフィア市内ホテルにて開催。片岡ジェトロ副理事長のほか、来賓として経産副大臣、革新成長副大臣、ソフィア市副市長が出席して挨拶されました。道上大使及びブルガリア投資庁長官がキーノート・スピーチを行った。続いて、当国進出日本企業として、日・ブルガリア・ビジネス協会(JBBA)矢崎総業、Moto—Pfohe(住商)及びSEGA、そしてブルガリアエンデバーから、ブルガリア・スタートアップ・エコシステムに関するプレゼンテーションが行われ、その後、ネットワーキングを兼ねた昼食会が開催された。

#### (2) ラデフ大統領との会談

ラデフ大統領は、自身の訪日経験や来年の訪日計画を語ったほか、日本は東アジアで最も重要な友好国・パートナー国だとし、日本からの投資を歓迎し、支援する旨表明した。また、ハイテク・イノベーション分野、研究開発、教育分野での日本との協力を特に期待を示し、エネルギー、インフラ、観光分野への投資促進に言及した。IT・ハイテク産業、エネルギー、観光等分野について、活発な質疑応答が行われた。参加者はみな、大統領の日本への知識と意欲に感銘を受けていた。



### (3) 企業訪問

約 100 名の代表団 15 日午後、テックパークにて現地スタートアップ企業とのネットワーキングを実施したほか、INSAIT（人工知能・技術研究所）を視察。翌日には Dronamics（ドローン開発企業）視察後、ソフィア・ボジュリシュテ工業団地（国営企業が運営する経済区域）を訪問し、BHTC（自動車用エアコン等の製造）、Multivac（包装機材等の製造）を視察した。



▶ ビジネス・ミッションは、上記のほか道上大使公邸でドンチェフ対日友好議連会長（元副首相）やブルガリア経産副大臣、投資庁長官、商工会議所副会頭らと懇談した。また、ブルガリア国営通信（BTA）による片岡 JETRO 副理事長へのインタビューが行われた。

### ◆明治と LB ブルガリウム社の契約締結

▶ 2024 年（令和 6 年）10 月 16 日、明治が LB 社と乳酸菌分野における共同研究所の設立に関する 10 年契約を締結した。新設されるソフィアの研究所には明治から研究者も派遣され、不老長寿説へと連なるブルガリアの伝統的な食文化と、それを支える乳酸菌などの豊富な遺伝資源に、最新の科学技術を組み合わせた共同研究を行い、新たなイノベーション創出を目指す。



▶1970 年に開催された大阪万博を機に生まれた「明治ブルガリアヨーグルト」。そこから約 50 年が経過し、ニコロフ経産大臣は両国にとって重要で歴史的な日となった旨述べた。

### ◆鳴戸親方率いるビジネス代表団のブルガリア訪問

▶ 2024 年（令和 6 年）10 月 7 日～9 日、鳴戸親方率いるビジネス代表団（食品産業、運輸業、建設業、映画産業、観光業等）がブルガリアを訪問し、8 日にはニコロフ経産大臣、ラデフ大統領との会談を行った。



#### (1) ニコロフ経産大臣との会談

ニコロフ大臣は、ブルガリアの投資環境と貿易の可能性について説明するとともに、ブルガリア工業団地への日本企業の投資を期待する旨述べた。

#### (2) ラデフ大統領との会談

ラデフ大統領は、代表団に対し、ブルガリアの人材の豊富さ、社会的、経済的安定などの優位性を実感された上での投資・進出を歓迎し、支援する旨表明した。

参加企業からは、ブルガリアでの映画撮影及び備前焼の美術館展示、ヴァルナ・バレエフェステ

イバル復活に向けた協力等、具体的なアイデアが提起された。

同大統領は、鳴戸親方に対し、日本の国技である相撲界で成功を収め尊敬されるべき地位にいることは誇りであり、今後とも二国間の架け橋として大きな役割を担うことへの期待を述べた。

## その他

### ◆道上大使の松前重義・元東海大学総長胸像除幕式への出席

▶ 2024年（令和6年）10月31日、道上大使は、ソフィア大学東洋言語文化センターで行われた松前重義・元東海大学総長の胸像除幕式に出席した。除幕式は、ヴァルチェフ・ソフィア大学学長と稲津東海大学副学長との間で行われ、ヨトヴァ副大統領、ヴィタノフ教育科学副大臣らが出席した。



▶ 道上大使は、故・松前重義氏の大きな功績に敬意を表するとともに、東海大学で学んだブルガリア人留学生は累計100名を超えること、ブルガリア国営ラジオ児童合唱団、同大学同窓会ブルガリア支部主催のお花見行事に言及し、日本ビジネスがブルガリアに戻りつつあることを紹介しつつ、一層の交流を進めたいと述べた。また、両大学の協定の締結、来年1月の東海大学でのITセミナーの実施への期待を述べた。



▶ ヨトヴァ副大統領は、松前重義氏が科学、知識及び文化の力は剣に勝り、地理的境界なく国際の安定した架け橋となることを知っていたと指摘し、日本とブルガリアとの関係発展に多大な貢献をした松前重義氏がブルガリアの偉大な友人の一人として名を後世に残す旨言葉を寄せた。

▶ 稲津東海大学副学長は、松前重義氏が冷戦の加速する1967年及び1969年、教育と文化の交流を通じて東西間の対立を克服できるとの考えのもとにブルガリアを訪問した旨述べた。東海大学とソフィア大学とは、除幕式に先立ち日本語研究分野での協力拡大のための協定に署名した。

指標	
GDP 成長率(年率予測:最新値) ※EC データ	24年:2.1% 25年:2.9%
消費者物価指数(9月) ※ブルガリア統計局データ	-0.9%(前月比) +1.2%(前年同月比)
失業率(9月) ※ブルガリア労働省	5.2%(前月比-0.1%)
公的債務残高/GDP(含む国および地方:6月)	第1Q 21.5%(対第4Q比-1.6%)

※ブルガリアのマクロ経済指標は、ブルガリア国立銀行HPよりご覧になれます  
(<https://www.bnb.bg/Statistics/StMacroeconomicIndicators/index.htm?toLang=EN>)。